



平成 21 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社やまびこ
 代表者名 代表取締役社長 北爪 靖彦
 (コード 6250 東証第一部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 伊藤 真
 (TEL 0428-32-6111)

業績予想(連結)および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表いたしました業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 連結業績予想数値の修正

(1) 第 2 四半期連結累計期間(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	45,000	500	200	△1,000	△91円83銭
今回修正予想(B)	43,281	843	402	△2,451	△225円17銭
増減額(B-A)	△1,719	343	202	△1,451	—
増減率(%)	△3.8	68.6	101.0	—	—

(2) 連結通期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	82,000	300	△500	△1,700	△156円12銭
今回修正予想(B)	79,000	300	△500	△3,800	△348円98銭
増減額(B-A)	△3,000	0	0	△2,100	—
増減率(%)	△3.7	0.0	0.0	—	—

(3) 修正の理由

①第 2 四半期連結累計期間

損益面において、引き続き厳しい経営環境の下、グループを挙げて業務の効率化、総原価低減を進めて利益向上に努めました結果、営業利益、経常利益は予想を上回るものの、主に繰延税金資産を取崩すことにより当期純利益は当初の予想を下回るものと見込まれます。

《繰延税金資産の取崩し》

当期および次期以降の経営環境の見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討しました結果、将来の不確実性を排除するため、当第 2 四半期連結会計期間において繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を 1,558 百万円計上いたします。

②連結通期

連結通期につきましては、経営資源の一元化をより促進させ、グループを挙げて業務の効率化・合理化・最適化に取組み、早期に経営統合シナジーを追求し業績の回復に努めてまいります。主当初の想定より今後の米ドルの為替レートが円高に推移するものと見込まれることや第2四半期連結会計期間に計上いたしました繰延税金資産の取崩しの影響が大きく、損益面において前回公表の業績予想を下回るものと予想されます。

2. 平成22年3月期 期末配当予想の修正

(1) 配当予想の内容

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (平成21年5月15日発表)	円 銭	円 銭	円 銭
今回修正予想		30.00	30.00
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)		14.00	14.00

※平成21年3月期につきましては、平成20年12月1日を効力発生日とした株式会社共立および新ダイワ工業株式会社との経営統合により当社が設立されたことから、決算期が平成20年12月1日から平成21年3月31日までの4ヶ月間となっております。

(2) 配当予想の概要

当期の配当予想につきましては、前回公表（平成21年5月15日）時点では、経営環境の先行きが極めて不透明であることから、未定としておりました。

当社は、株主配当金につきましては、安定配当の継続を基本とし、連結業績に応じた利益還元を加味するとともに、経営環境や財務状況、将来の事業展開に備えた内部留保の充実などを総合的に勘案して決定することを方針としております。平成22年3月期の期末配当予想につきましては、上記の基本的な考えを踏まえ、当期の業績見通し等を総合的に勘案した結果、1株当たり30円とさせていただきます。予定です。

※ 上記の予想は発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上